

八幡まるごと館は8周年です

●ひとが集まる場
●ありがとう
●ございました



まるごと市5月21日

早いものです

八幡まるごと館は2017年6月6日で8周年になりました。多くの方々のお力で、ここまで歩んで来られたとの気持ちを強くしています。

まるごと館が目指してきたこと

○ひととひとが交流でき、学べる場を
欲張った目標ですが、学ぶことが出来なくても、ただ居心地のいい場であればいい。これまで何度も書きましたが、「民間の力で公的部門の活動分野を担おうとする意欲的な試みのひとつ」(故夫・上谷耕造)としてオープンしたまるごと館。毎日ひとりポツンと館にいた時から、色々な試行錯誤を繰り返して、今のまるごと館の姿に。これからも、新しく創られる関係性や形の可能性をまだまだ追い求めようと思っています。

○お金よらないひととひとの結びつきを

参加者の方々は理解して下さっている

と思います。お金とは関係ない所でのひととのつながり。信頼とはそういうところから芽生えて来るように思うのです。

何物にもかえがたいものを自分たちで作る。中々取り組みがいがあることだと思いませんか。

○自分を発見できる場

この8年の中で、未知の分野への挑戦など色々経験し、今まで知らなかった自分を発見、ひととの関係性の中で、仕事をしている頃より自分が開けてきたように。そういう実感が、自分に生きていく力を与えてくれているように思います。

ひとのありがたみをいっぱい感じて…

筆者がこのまるごと館で一番感じてきたこ

とはひとに対する気持、ひとのありがたみです。本当に多くの方々と出会い、教えられ、助けられて今日まで来ることが出来た。今は夫の上谷を知らない方々が多く参加され

るようになりました。夫が構想していたまるごと館の姿にはまだまだ行き着かないと思いますが、現在のまるごと館の様子を目にしたら、どういう言葉を発するのでしょうか。そう

5月にこんなことしました



多くの方が

午前8時から多くの方が手伝いに来て下さって、テントをたてたり、机を並べたりし

ました。以前の借りてきた重いテントの設置と片付けは大変でした。重たいし、人数も必要で、グッと気合を入れて動いていました。今思うと「よく



やって来た」と。そういう時も含めて、2009年10月から始めた年2回のまるごと市を16回も続けて来られたのはきっと、この方々がおられたから。前日の炊き込みご飯の材料刻みにも何人もの方が来て下さいました。

まるごと市当日は

この日は朝からとても暑い一日でしたが、朝9時にもならないうちから大勢の方々が来られました。

野菜販売のこと

野菜の所では生産者の方々が販売され、多かったのは絹さや、スナップ、えんどう等の豆類、玉ねぎで淡竹(はちく)もありました。花は真っ先に売れるよう

いうことを時々思いながらの日々を重ねて8周年を迎えました。関わって下さっている多くの方々に本当に感謝申し上げます。ひととの関係を根幹に据えて、歩き続けます。

春のまるごと市 5月21日



野菜生産者の方々

です。まるごと館の野菜はいつも棚に置いてありますので生産者の顔が見えませんが、この時ばかりは違います。年3回くらいこうした時があります。春秋年末です。

生産者の方々にはまるごと館の運営費用面での要を担って頂いています。毎朝早い時間に畑に行かれて、



まるごと館に運んで来られる。いつもありがとうございます。フリーマーケット
今回はまるごと館を含めて13店でした。初めての方が4人おられました。買い物をされる方の年齢層を考慮に入れた方がいいですね。もともとフリマとは古着等のリサイクルから始まったものと聞いています。

八幡まるごと館だより

2017年6月6日/86号

<発行>八幡まるごと館/八幡市男山松里12-20
(TEL&FAX) 075-983-3664(9時~17時)
(E-MAIL) yawata@marugotokan.net
ホームページは <http://marugotokan.net/>
又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。

要らなくなったものを他の人に安く譲る、欲しい人は買うというシステム。これをとて楽しんでやっておられる方々を見て、こちらも楽しくなりました。今回の経験で、「価格のこと等どうしたらいいかわかった」と次回秋のまるごと市を申し込んで下さった

方もおられました。楽しい一日でした。皆様、ありがとうございました。次回は秋10月15日です。



オカリナクラブ ひまわり 5月の毎週月曜日

よく続けて来られました。毎週月曜、自主練習の日に沢山の方が来られます。平岡由利子さんが来



絵手紙講習会 5月10日



今回も満員でした。森本玲子さんは間を巡って大変だと思うのですが、楽しい話が聞こえてくると思わず笑ってしまいます。絵も段々上手になってきているとの巷の噂です。講習会は丸4年になります。

今回も満員でした。森本玲子さんは間を巡って大変だと思うのですが、楽しい話が聞こえてくると思わず笑ってしまいます。絵も段々上手になってきているとの巷の噂です。講習会は丸4年になります。

パッチワーク講習会 巾着 5月25日



可愛くて素敵な巾着が出来ました。中浦敏子さんは毎回、型紙や布を用意して来て下さって、縫物の経験がほとんどない筆者だって、色々作ることが出来ています。言うてみれば、自分の新しい面を少し見ることが出来た。講習会がそういう場になっています。

可愛くて素敵な巾着が出来ました。中浦敏子さんは毎回、型紙や布を用意して来て下さって、縫物の経験がほとんどない筆者だって、色々作ることが出来ています。言うてみれば、自分の新しい面を少し見ることが出来た。講習会がそういう場になっています。

八幡の歴史 13 5月26日



今回も参加者が多かったです。木津川の付け替えのこと等でした。あまり語り面白くなると出口修さんは言われていたのですが、今に通じることも多々あり、興味深い内容でした。江戸末期

から明治はじめ、神仏分離令で八幡宮は法的にされ、多くの仏具関係は排除された。幕末1868年5月雨が降り止まず、12日から13日木津川は堤が切れて人がなくなったり、50軒の家が流される等の出来事が、川の付け替えには八幡北部から反対運動が起きたが、色んな経過で鎮められていった。約1年で工事は完了。その辺りのお話詳しく、人夫の労賃から労働状態まで具体的でした

八幡まるごと館 6月・7月の予定

<p><パソコン教室> 基本的には毎週月曜日 10時～12時です 6月5日(月)10時～12時 講師 吉田恒夫さん パソコンを持って来て下さい。参加費用 300円(コーヒーつき) 6月は12日、19日、26日の予定です</p>
<p><オカリナクラブ ひまわり> 楽しめる時に。会費 100円 6月7日(水)13時～ 平岡由利子さんを中心にゆっくり進んでいます。毎週月曜日 13時から自主練習をしています。</p>
<p><絵手紙講習会> ちょっとゆったりしませんか。 6月14日(水)午後1時30分～ 特に持ち物は要りません。講師 森本玲子さん 参加費 400円(コーヒーつき) 次回は7月12日(水)です</p>
<p><パッチワーク講習会 猫のパンくずぼうし> 6月16日(金)13時30分～ 講師 中浦敏子さん 参加費 400円(材料代込) 持ち物B以上の鉛筆、針、白と赤の糸、ハサミ、</p>
<p><めか床講習会> 夏野菜を漬物にしませんか 6月22日(木)10時30分～13時 カメ エプロン 参加費 600円(材料代と簡単な昼食代です) 講師 使い捨て時代を考える会より 安井富子さん、高橋佐知子さん。</p>
<p><楽しい理科の実験 NO.13 綿菓子を作る>サイエンスショー 6月23日(金)13時30分～ 講師 木下章司さん 特に持ち物はいりません。参加費 300円(コーヒーつき)です。お楽しみに!!</p>
<p><歴史を学ぶ 八幡の歴史 14> 京阪電車の開通等のお話 6月28日(木)13時30分～ 講師出口修さん 参加費 100円 月1回</p>
<p><ライヴコンサート> 地元で生まれたジャズバンドです 6月29日(木)13時30分～15時 出演 Jazz Band The Star Dusters 参加費 500円(コーヒー他)ジャズ・ラテン・映画音楽・懐メロ・唱歌など</p>

これも古文書(山田さんの日記)から読み取られたことです。八幡に飛地があるのは木津川の付け替えの結果なのですね。納得です。

<あんなこと・こんなこと>

- * まるごと市ではお世話になりました。まるごと館に色々寄付して下さった方々、チラシを配って下さった方々、こんな時は普段会えない人に会えるからと寄って下さった方々、買い物に来て下さった方々、ご近所の方々もありがとうございました。市の収益の一部を福島こども保養キャンプに寄付します。2か所です。
- * フリマに楽しんで参加されている様子が目に焼き付いて、今でも思い出すと笑ってしまいます。フリマを数人で受け持たれるのをお勧めです。
- * 今年初めてのことに挑戦してきています。3月末の絵画展に続いて6月29日にはジャズコンサートを

、9月にはオカリナコンサートを予定で進んでいます。こんな狭い所だと思って始めてきたコンサート。年2回はこの所行ってきていたのですが、実施できるのが嬉しい限りです。

「新しいことに挑戦する若者の雄姿に、人々は拍手を惜しまない。しかし、老年を生きる人々に同質の賛辞を送ることはほとんどない。だがおそらく、人間の生涯の中でもっとも勇気を要するのは、老いの日々、老境なのではないだろうか(若松英輔 生きていくうえでかけがえのないこと)「年取ったら、いいことないって、この頃よく聞くその言葉に対して、オープン8年はあっという間でした。この間、たくさんの講師の方々、受講者の方々、何かと気にして寄って下さる方々、書いたらきりがない程です。お陰さまでここまで来ることができました。表ページに書きましたがひととひとの信頼関係を築くことを肝に銘じて。ありがとうございます。(うえたにじゅんこ)